

ノートパソコンのスペック一覧表 (2026年度入学生向け)

	(1)推奨するスペック											(2)最低限必要なスペック
	文学部、国際人間科学部、法学部、経済学部、経営学部、理学部(生物学科を除く)、工学部(右に指定の学科を除く)、システム情報学部、農学部(右に指定のコースを除く)	理学部 生物学科	医学科 医療創成工学科	保健学科	建築学科	工学部 電気電子工学科	機械工学科	食料環境システム学科生産環境工学コース	農学部 資源生命科学科応用動物学コース	生命機能科学科応用生命化学コース	海洋政策科学部 海洋政策科学科	全学部共通
①OS	・Microsoft社のWindows 11以上であること。 ・Apple社のSequoia15以上であること。	Microsoft社のWindows 11 ※それ以外のOSの場合、講義等で対応できない場合がある。	・Microsoft社のWindows 11以上であること。 ・Apple社のSequoia15以上であること。 ※Windows以外の場合、プログラミングおよびCADの授業でインストールするソフトウェアが使用できない可能性がある。買付PCIにより更新は可能であるが、自分のPCで自習することができない可能性がある。	Microsoft社のWindows 11 ※それ以外のOSの場合、講義等で対応できない場合がある。 ※OSの指定は検査技術科学専攻のみ	・Microsoft社のWindows 11以上であること。 ・Apple社のSequoia15以上であること。 ※建築学科としてWindowsの搭載されたPCを推奨します。	・Microsoft社のWindows 11以上であること。 ・Apple社のSequoia15以上であること。		(WindowsOSを推奨) ・Microsoft社のWindows 11以上であること。 ・Apple社のSequoia15以上であること。		・Microsoft社のWindows 11以上であること。 ・Apple社のSequoia15以上であること。		・Microsoft社のWindows 11以上であること。 ・Apple社のmacOS Sequoia 15以上であること。
②CPU	Intel Core 5以上の性能を持つこと。 ※快適に利用するためにはIntel Core Ultra 7以上が望ましい。 ※AMD Ryzen、Qualcomm SnapdragonXやApple Siliconも可とする。	快適に利用するためにはIntel Core Ultra 7以上、Apple製ならM4以上が望ましい。AMD製は、授業で使用するソフトウェアが動作しない事があるので推奨しない。	Intel社製Core i5(第12世代以後のCore i3も可)相当以上、または、AMD社製7000番台Ryzen 5相当以上	Intel Core 5以上の性能を持つこと。 ※快適に利用するためにはIntel Core Ultra 7以上が望ましい。 ※AMD Ryzen、Qualcomm SnapdragonXやApple Siliconも可とする。	Intel Core 5以上の性能を持つこと。 ※快適に利用するためにはIntel Core Ultra 7以上が望ましい。 ※AMD Ryzen、Qualcomm SnapdragonXやApple Siliconも可とする。 ※建築学科としてIntel CoreやAMD Ryzenを推奨します。					Intel Core 5以上の性能を持つこと。 ※快適に利用するためにはIntel Core Ultra 7以上あるいはApple Siliconが望ましい。※AMD Ryzen、Qualcomm SnapdragonXも可とする。	Intel Core 5以上の性能を持つこと。 ※快適に利用するためにはIntel Core Ultra 7以上が望ましい。 ※AMD Ryzen、Qualcomm SnapdragonXやApple Siliconも可とする。	Windows 11以上または macOS Sequoia 15以上が動作するCPUであること。 ※AMD Ryzen、Qualcomm SnapdragonXやApple Siliconも可とする。
③メモリ容量	8GB(ギガバイト)以上が搭載されていること。 ※快適に利用するためには16GB(ギガバイト)以上が望ましい。	16Gバイト以上。快適に利用するためには32GB(ギガバイト)以上が望ましい。	8Gバイト以上 ※大きなデータを安定的に扱う場合は16GBが望ましい				8GB(ギガバイト)以上が搭載されていること。 ※快適に利用するためには16GB(ギガバイト)以上が望ましい。					8GB(ギガバイト)以上が搭載されていること。
④HDD、SSD	SSDで、256GB(ギガバイト)以上が搭載されていること。 ※快適に利用するためには512GB(ギガバイト)以上が望ましい。		SSD、256Gバイト以上が搭載されていること。				SSDで、256GB(ギガバイト)以上が搭載されていること。 ※快適に利用するためには512GB(ギガバイト)以上が望ましい。					HDD、SSDのいずれかで128GB(ギガバイト)以上が搭載されていること。
⑤無線LAN	IEEE 802.11ax (Wi-Fi 6E)またはIEEE 802.11be(Wi-Fi 7)に対応していること。(「IEEE802.11 a/b/g/n/ac/ax/be」などアルファベットの赤字部分にaxかbeが含まれている場合はこれに該当します)	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac に対応していること。(※Wi-Fi 6(6E)、Wi-Fi 7は該当します)			IEEE 802.11ax (Wi-Fi 6E)またはIEEE 802.11be(Wi-Fi 7)に対応していること。(「IEEE802.11 a/b/g/n/ac/ax/be」などアルファベットの赤字部分にaxかbeが含まれている場合はこれに該当します)							IEEE 802.11ac (Wi-Fi 5) または IEEE 802.11ax (Wi-Fi 6) のいずれかに対応していること。(「IEEE802.11 a/b/g/n/ac/ax」などアルファベットの赤字部分にn,またはacかaxが含まれている場合はこれに該当します)
⑥バッテリー駆動時間	8時間程度以上であること。	8時間程度以上であること。 ※第12世代Core i7は電力効率が悪い場合があるので要注意				8時間程度以上であること。						8時間程度以上であること。
⑦その他	・イヤホン・マイク・カメラが利用できること。 ・USB2.0、3.0、3.1、3.2、4.0のいずれかが利用できること。	・画面解像度1,920×1,200以上が望ましい(1,920×1,080も可) ・イヤホンが利用できること。(Type-Cアダプタ経由可) ・マイク、カメラが利用できること。(必ずしも内蔵でなくても良い) ・USB3.0以上のType-Cが充電用とは別に1つ以上利用できること。 ※教室内での安定稼働を考えると、イヤホンは有線で使用することが望ましい	・イヤホン・マイク・カメラが利用できること。 ・USB2.0、3.0、3.1、3.2、4.0のいずれかが利用できること。 ・画面解像度:タッチ解像度が1,200以上(1,920×1,200) ※1,920×1,080(フルHD)だと講義で使用するソフトが画面に収まりきらず、操作に問題が出るため。 ※画面解像度の指定は検査技術科学専攻のみ	・イヤホン・マイク・カメラが利用できること。 ・USB2.0、3.0、3.1、3.2、4.0のいずれかが利用できること。 ・画面解像度:タッチ解像度が1,200以上(1,920×1,200) ※1,920×1,080(フルHD)だと講義で使用するソフトが画面に収まりきらず、操作に問題が出るため。 ※画面解像度の指定は検査技術科学専攻のみ	・イヤホン・マイク・カメラが利用できること。 ・USB2.0、3.0、3.1、3.2、4.0のいずれかが利用できること。 ・HDMI出力に対応していること。 (PCIに備えていない場合はUSB-HDMI変換アダプタの使用でも良い)			・イヤホン・マイク・カメラが利用できること。 ・USB2.0、3.0、3.1、3.2、4.0のいずれかが利用できること。			・イヤホン・マイク・カメラが利用できること。 ・USB2.0、3.0、3.1、3.2、4.0のいずれかが利用できること。	
⑧ネットワークについて	遠隔授業では動画の視聴やWeb会議への参加をした場合、一回の授業で500MB(メガバイト)～1GB(ギガバイト)程度の通信量が予想されます。自宅のインターネット回線にWi-Fi接続するか、モバイルのみで通信する場合は、容量不足(いわゆるギガ不足)にならないようなプランの契約ないしはプランの変更をお勧めします。	遠隔授業では動画の視聴やWeb会議への参加をした場合、一回の授業で500MB(メガバイト)～1GB(ギガバイト)以上の通信量が必要な場合があります。自宅のインターネット回線にWi-Fi接続するか、モバイルのみで通信する場合は、容量不足(いわゆるギガ不足)にならないようなプランの契約ないしはプランの変更をお勧めします。			遠隔授業では動画の視聴やWeb会議への参加をした場合、一回の授業で500MB(メガバイト)～1GB(ギガバイト)程度の通信量が予想されます。自宅のインターネット回線にWi-Fi接続するか、モバイルのみで通信する場合は、容量不足(いわゆるギガ不足)にならないようなプランの契約ないしはプランの変更をお勧めします。							遠隔授業では動画の視聴やWeb会議への参加をした場合、一回の授業で500MB(メガバイト)～1GB(ギガバイト)程度の通信量が予想されます。自宅のインターネット回線にWi-Fi接続するか、モバイルのみで通信する場合は、容量不足(いわゆるギガ不足)にならないようなプランの契約ないしはプランの変更をお勧めします。
⑨備考	・以上は新規にノートパソコンを購入するなどで、4年間以上同じノートパソコンを利用する場合の条件です。			・以上は新規にノートパソコンを購入するなどで、4年間以上同じノートパソコンを利用する場合の条件です。			・以上は新規にノートパソコンを購入するなどで、4年間以上同じノートパソコンを利用する場合の条件です。 ※①OSに関して、Microsoft社のWindowsの場合、3次元モデリングソフトウェア(SolidWorks)を学内で使用することができます(LAN接続時)。ただし、自習のためのサービスであり、Apple社のmacOSの場合に授業で不利になることはありません。	・以上は新規にノートパソコンを購入するなどで、4年間以上同じノートパソコンを利用する場合の条件です。	・以上は新規にノートパソコンを購入するなどで、4年間以上同じノートパソコンを利用する場合の条件です。 ・一部のタブレット型(例:Surfaceシリーズ)では、特定の画像解析ソフト等などの併用時にシステムエラー等の発生や、プロジェクター等に接続する際の互換性に問題が生じたという報告があります。このため、タブレット型ではなく一般的なノート型(ラップトップ型)を推奨します。	・以上は新規にノートパソコンを購入するなどで、4年間以上同じノートパソコンを利用する場合の条件です。	・以上は新規にノートパソコンを購入するなどで、4年間以上同じノートパソコンを利用する場合の条件です。 授業に支障が出るため、利用できません。	以上はずでに所有しているノートパソコンを利用する場合の最低限の条件です。4年間以上同じノートパソコンを利用したい場合などは、推奨するスペックを参考にしてください。

PCスペックに関する注意事項

- ①OS
・Windows 10 の場合、無償でWindows 11 にアップグレードできます。
・サポート期限の切れているOS を、大学で利用してはいけません。Windows のサポート期限についてはMicrosoft のWeb ページを参照してください。macOS については、最新のものより2つ前までが通常サポートされています。
・Windows Update あるいはmacOS のアップデートにより、常に最新の状態にアップデートしてください。

- ③メモリ容量
・G はギガを指します。
・複数のアプリを同時に利用したり、プログラミングを行ったりするなら8G バイト程度が必要になります。

- ④HDD、SSD
・HDD よりもSSD やeMMC のほうが駆動に速くなります。また、SSD は他よりも起動速度が速くなります。
・必要な容量は各自の利用の仕方によります。例えば、自分のスマートフォンのバックアップを取りたいなら、その分の容量が余分に必要です。

- ⑤無線LAN
・IEEE 802.11 b/g あるいは IEEE 802.11 b/g/n 対応の機器の場合は、授業中などの混雑時に繋がりにくくなる可能性があり、全体の速度にも影響がです。この場合、IEEE 802.11 a/n 対応のUSB 無線LAN などを購入して利用してください。

- ⑥バッテリー
・大学には充電する設備はありません。大学で利用する時間を考慮して、必要なバッテリー容量を選択しましょう。
・新規にノートパソコンを購入する場合はカタログ値を参考にしてください。
・バッテリーは消耗品です。すぐにバッテリー切れが起こるなどの場合は、バッテリーを交換しておきましょう。

- ⑦ソフトウェア
・以下のソフトウェアのインストール方法についてはマニュアルを準備しています。入学前にインストールしておく必要はありません。
Thunderbird、Adobe Acrobat Reader DC、Microsoft 365※
・Microsoft 365※は、入学後、無償でダウンロードできます。
※在学中は、Officeを無料でご利用いただけます。(卒業後のご利用はできません)
(セキュリティ対策ソフト)
・Windows 11 の場合、付属しているWindows Defender を利用できます。
・Trellix Endpoint Security for Macを入学後、無償でダウンロードできる予定です。

- ⑨備考
・ノートパソコンが必要な授業について、ノートパソコンを持参し利用することは、学生各自の責任です。ノートパソコンが利用可能な状態を維持しましょう。
・ノートパソコンは高価です。新規購入する場合は、自分で良く調べて慎重に選択しましょう。
・Surface等の一部のWindows端末では、工場出荷時にSモードという設定が有効化されており、この場合、Microsoft から認証されたソフトウェアしかインストールすることができません。Sモードには様々なメリット・デメリットがあり、解除することもできますが、一度解除すると再度Sモードに戻すことはできません。
・遠距離から通学する場合などは、ノートパソコンの軽さも重要になります。携帯性と環境性のバランスを考えて選択しましょう。
・ノートパソコンは精密機器です。できるだけ振動などを与えないように気をつけましょう。ノートパソコン用のバッグなどを活用しましょう。
・メーカーあるいは販売店の保証が有効かどうかなど、欲購した場合にどうすれば良いかを確認しておきましょう。
通常の場合、水没や落下などによる故障は保証の範囲外です。販売店で保証内容についてもよく確認しましょう。
有料になりますが、動作保険などに入ることも検討しましょう。
メーカーや製品によっては初期故障が多いなどの場合があります。新規購入の場合は、機種選択について販売店で相談するのも良いでしょう。